

徳山薬剤師会だより

令和5年
7月
第18号

発行元:(一社)徳山薬剤師会 〒745-0822 周南市孝田町7-1 TEL.0834-39-1105 FAX.0834-39-1106



おくすり教室



徳山薬剤師会では薬剤師が委員会活動を通して地域の皆さまのお役に立てる活動をしています。その中のひとつに「おくすり教室委員会」があります。周南地区の地域の会や趣味の会、学びの会などから依頼あれば薬についてお話をしています。

以前までは講義のプログラムや時間が明確な形でした。時代の流れ、委員会メンバーも変わり、コロナという流行感染症もあり最近では座談会スタイルになっています。

10~30名ほどの参加者の方々と薬剤師で距離も近く、質問を取り入れながら薬の基本を簡単に、“わかっている”“知っている”ことの意味づけをスライドをもとにお話しています。

基本的なことの伝達をと「スッキリわかるお薬教室」と題して話しています。時事ネタを数分盛り込んだり、質問時間ももうけています。皆さまの質問から改めて学ばせてもらうことも多いです。

例えば、「お薬を飲む際に何で飲むのが一番よいでしょうか？」①コーラ ②お茶 ③水という質問をします。正解は簡単ですが、皆さまからは薬を爽快地に飲みたいという思いや、正解はわかるものの理由はわからなかった、この飲み方は大丈夫ですか?など色々な声を聞かせて頂きます。正解と理由はここでは発表しません。ぜひ、おくすり教室委員会に依頼してください。皆さまの前でお伝えします。

日頃は業務上でお会いすることが多く堅苦しい関係です。このような機会に薬のことを笑顔やふれあいを通して学ぶことで薬を飲むことが辛く嫌なことから意味あるいりどりあふれる時間になってもらえたらと願います。

普段されている行動は正しいことが多いです。でも、理由がわからないことも多いのではないのでしょうか。薬剤師が薬学的観点から理解しやすいように理由をお話します。理解してからの行動になれば薬とよりよい関係になれるのではないかと考えています。

おくすり教室委員



現在大人対象の会からのご依頼がほとんどですが、この会報誌掲載を機にこれからは保育園や幼稚園などお子様対象のお話をする機会があればうれしく思います。もちろん、少人数の趣味の会などで大人対象のお話しも歓迎します。集合場所があれば、プロジェクターとスクリーン持参で行きます。大規模であれば相応な薬剤師人数で対応させていただきます。

願えばかりですが、薬を飲むことが苦手意識から飲みたい意欲に変わるお手伝いをしていきたいです。よろしく願いいたします。

平成薬局 渡邊 卓子

